

開設の目的・概要 等				
<p>本講座は、大日本住友製薬との共同研究講座として、新規創薬標的の探索に向けて双極性障害における視床室傍核の役割を研究するため、発足した。双極性障害における視床室傍部病変の検討を免疫組織化学的に調査し、並行して、死後脳の単一神経核RNAシーケンスによるヒト視床室傍核セルタイプの同定を行う。双極性障害サンプルの病的変化から、その病態を理解するとともに、ヒトにおける視床室傍核の情動行動の制御における意義と役割を調べる。さらにマウスを用いて、視床室傍核を巡る神経回路と双極性障害の関連を検討し、その病態解明を行う。</p>				
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
英文原著	1		H Sugawara et al. Cell-type-specific DNA methylation analysis of the frontal cortices of mutant Polg1 transgenic mice with neuronal accumulation of deleted mitochondrial DNA. Molecular Brain., 2022;15(9)	
英文原著	2		Y Obata, Phenethylamine is a substrate of monoamine oxidase B in the paraventricular thalamic nucleus, Scientific Reports, 2022, 12(1)	
区分	番号		発表者名,発表タイトル (題目・演題・課題等) ,学会名,場所,発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1		窪田-坂下 美恵, 双極性障害患者由来死後脳サンプルを用いた視床室傍核領域におけるミトコンドリア障害、および酸化ストレスマーカーの免疫組織化学的定量解析, 第44回日本生物学的精神医学会年会, 東京, 2022年11月5日	